

超光寺



本堂外観

東京都圏都市開教草加布教所として布教伝道拠点を設置後、五年で現在の埼玉県草加市花栗一―三二―三五に土地建物を求め移転する。三階建ての中古ビル、土足と総椅子席の本堂を構え、参拝者の利便性を優先させた。

お寺の無い町にお寺を！教えの届きにくい地域へ教えを！をスローガンに活動を開始。敷居のないお寺、友達のような住職像をモットーに坊守とともに歩み始める。微に入り細に入り門信徒の悩みや相談にのり悩みを聞いてきた。特に届託のない相談内容は寺院の栄養と感じ、どこが分からないのか何で一番悩むのであろうかを一番の問題意識として寺院を運営。

新たに出会う門信徒を門徒・信徒・未登録の種別として登録することや、夫婦を一単位(子どもは別登録)とするなど、時代に合わせた組織作りを目指している。

門信徒会決議により、超宗派の仏教学習会「南無の会草加」の新設や、花栗雅楽会として門信徒を中心にした楽団を社会活動団体として草加市に登録、市内老人施設などへの出張演奏会を企画上演。市内ボランティア活動は草加市国際交流協会理事や(全国一級河川中)綾瀬川水質ワースト・ワンであることにより河川浄化活動(FSCサルベージ協会)を運営している。
長崎県出身であり、九州の暖かい心意気を生かした寺院運営と、持ち前の人なつっこさを最大の特徴とした教化活動をこれからも続けていく所存。

寺院活動

葬儀・法事の依頼に応える

法話会(第一土曜日)午後一時半～三時

やさしくよく分かる仏教の話し四八！ 第3土曜日

報恩講・元旦会・彼岸会・降誕会・永代会・盆会



法話会の様子



本堂内陣